



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セコニック

コード番号 7758 URL <http://www.sekonic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荒井 宏

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 佐藤 重朗

TEL 03-3978-2327

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,381	△16.7	△94	—	△100	—	△90	—
23年3月期第2四半期	6,458	22.0	160	—	127	—	53	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △174百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	△5.69	—	
23年3月期第2四半期	3.39	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	9,579	—	5,482	—	56.7	—	342.10	
23年3月期	9,769	—	5,657	—	57.3	—	352.33	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,433百万円 23年3月期 5,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△6.4	△200	—	△220	—	△250	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	16,800,000 株	23年3月期	16,800,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	918,703 株	23年3月期	917,832 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	15,881,804 株	23年3月期2Q	15,883,544 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災以降停滞していた企業の生産活動は回復傾向にあるものの、原子力発電所事故の長期化、欧州や米国の経済不安による円高の更なる進行等、先行き不透明な状況で推移しました。このような状況のもと、当社グループは販売活動に一層注力するとともに、業務の効率化を推進し各製品の採算性の向上に努めましたが、売上高は5,381百万円（前年同期比16.7%減少）となり、利益面につきましても売上高の減少が大きく影響し、営業損失は94百万円（前年同期は営業利益160百万円）となりました。また、経常損失は100百万円（前年同期は経常利益127百万円）となり、四半期純損失は90百万円（前年同期は純利益53百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（事務機器）

事務機器は、プロッタの受注が増加したこと等により、売上高は2,464百万円（前年同期比3.0%増加）となり、営業利益は19百万円（前年同期比1,544.2%増加）となりました。

（光学電子情報機器）

光学電子情報機器は、入力機器の需要減や、監視カメラの受注減等により、売上高は1,481百万円（前年同期比41.5%減少）となり、営業利益は117百万円（前年同期比73.4%減少）となりました。

（電装機材）

電装機材は、基板実装や無機エレクトロ・ルミネッセンスの受注が減少したことにより、売上高は1,332百万円（前年同期比6.7%減少）となり、78百万円の営業損失（前年同期は営業損失94百万円）となりました。

（不動産賃貸）

不動産賃貸は、本社用地に建設した商業施設の賃貸により、売上高は102百万円（前年同期と同額）となり、営業利益は84百万円（前年同期比0.4%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.1%減少し、6,508百万円となりました。これは主として現金及び預金が減少したためです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、5.6%減少し、3,071百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、9,579百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1.6%増加し、3,417百万円となりました。これは主として仕入債務が増加したためです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、678百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、4,096百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、3.1%減少し、5,482百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.3%から56.7%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結業績を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、「法人税等調整額」は「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911	1,789
受取手形及び売掛金	2,753	2,845
商品及び製品	320	287
仕掛品	235	222
原材料及び貯蔵品	1,141	1,231
繰延税金資産	104	104
その他	50	29
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,516	6,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	928	882
機械装置及び運搬具(純額)	406	354
土地	881	881
その他(純額)	107	98
有形固定資産合計	2,324	2,217
無形固定資産		
ソフトウェア	55	41
その他	71	64
無形固定資産合計	126	106
投資その他の資産		
投資有価証券	751	698
その他	65	64
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	802	747
固定資産合計	3,253	3,071
資産合計	9,769	9,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848	1,941
短期借入金	1,166	1,124
未払法人税等	12	8
その他	337	343
流動負債合計	3,364	3,417
固定負債		
長期預り保証金	256	246
繰延税金負債	61	42
退職給付引当金	330	299
役員退職慰労引当金	5	6
その他	94	84
固定負債合計	747	678
負債合計	4,111	4,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,759	1,759
利益剰余金	2,381	2,290
自己株式	△165	△165
株主資本合計	5,479	5,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	193
為替換算調整勘定	△112	△149
その他の包括利益累計額合計	116	44
少数株主持分	61	49
純資産合計	5,657	5,482
負債純資産合計	9,769	9,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	6,458	5,381
売上原価	5,576	4,824
売上総利益	882	556
販売費及び一般管理費	721	651
営業利益又は営業損失(△)	160	△94
営業外収益		
受取配当金	7	7
保険解約返戻金	—	8
その他	9	5
営業外収益合計	16	21
営業外費用		
支払利息	11	12
為替差損	35	13
その他	2	2
営業外費用合計	49	28
経常利益又は経常損失(△)	127	△100
特別利益		
補助金収入	11	7
その他	0	—
特別利益合計	12	7
特別損失		
固定資産除却損	7	3
固定資産廃棄損	7	—
投資有価証券評価損	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
特別損失合計	18	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121	△96
法人税等	61	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	59	△99
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	59	△99
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157	△34
為替換算調整勘定	△69	△40
その他の包括利益合計	△227	△75
四半期包括利益	△168	△174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	△162
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121	△96
減価償却費	144	129
売上債権の増減額(△は増加)	△781	△187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△244	△72
仕入債務の増減額(△は減少)	674	253
その他	△45	△54
小計	△131	△28
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△11	△12
補助金収入	11	7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△126	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△11
有形固定資産の取得による支出	△35	△23
無形固定資産の取得による支出	△63	△5
その他	△11	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△108	△8
長期借入金の返済による支出	△41	△20
配当金の支払額	△0	△0
その他	△8	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158	△39
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△443	△133
現金及び現金同等物の期首残高	1,884	1,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,440	1,728

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	事務機器	光学電子 情報機器	電装機材	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,393	2,533	1,429	102	6,458	—	6,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,393	2,533	1,429	102	6,458	—	6,458
セグメント利益又は損失 (△)	1	440	△94	83	431	△271	160

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△271百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△271百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	事務機器	光学電子 情報機器	電装機材	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,464	1,481	1,332	102	5,381	—	5,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,464	1,481	1,332	102	5,381	—	5,381
セグメント利益又は損失 (△)	19	117	△78	84	142	△237	△94

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△237百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△237百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。